

労働安全衛生ニュース No.2(2018年7月4日号)

発行：フード連合(労働局)

フード連合加盟組合において死亡事故発生！！ ～職場におけるルール・遵守状況についての緊急点検のお願い～

先般、フード連合加盟組合より、死亡事故が発生したとの緊急重大(休業)災害報告がありました。各単組において同様の労働災害を防止する観点から、報告内容について情報共有致します。

◆ 年齢・性別 ◆ 被災者の勤続・経験	◆ 災害発生状況 ① 場所 ② 作業内容 ③ 発生状況 ④ 災害の状態	◆ 組合・安全委員会等の対応 (主な取り組み)
50歳・男性 勤続28年・職場経験22年	①製造ラインのトンネルフリーザの上で ②カビ取り清掃作業をしている時 ③下に降りる際に足を滑らせて床に転落したと推測される ④頭部を強打し、2日後死亡	警察、労働基準監督署の調査対応中

なお、当該事故については、一人作業中に目撃者がいない中で発生しています。被災者は高所作業において義務付けられていたヘルメットの着用が無く、作業にあたり脱ぐことがルール化されていた前掛けを着用した状態で発見されたとのことであり、下に降りる際に前掛けが引っかかって転落し、頭部を強打したものと推測されています。

～職場におけるルール・遵守状況についての緊急点検のお願い～

工場に限らず、事故やケガが無く仕事を行うためには、安全に配慮して設定された職場ルールを遵守しなければなりません。労働者の安全確保を使命とする労働組合として、職場におけるルール・遵守状況について緊急の職場点検を行い、問題が確認された場合には、安全衛生委員会または労使協議を通じて速やかな是正措置を講じていただきますようお願い致します。

点検ポイント

- ① 多くの人が守っていない、形骸化している職場ルールはないか？
- ② 労働者の安全を確保するために必要な対策、ルールが設定されているか？(危険を放置していないか？)
- ③ 遵守するのが難しいルールとなっていないか？